

(社) 日本原子力学会  
第 86 回倫理委員会議事要旨

日 時 平成 27 年 7 月 7 日 (火) 13:30~17:30  
場 所 日本原子力研究開発機構 東京事務所 第 5 会議室  
出席者 大場委員長、宮越副委員長、宇奈手幹事、内山委員、大鷹委員、金山委員、  
近藤委員、辻委員、中野委員、名倉委員、林委員、福家委員、宮澤委員、三村委員  
岡嶋理事 (15 名：委員名簿順)  
北村氏、出町氏 (オブザーバー)

配布資料

- 資料86-1：第85回倫理委員会議事要旨（案）
- 資料86-2：倫理委員会HP抜粋、倫理委員会引き継ぎメモ
- 資料86-3：2015年秋の大会企画セッション説明資料
- 資料86-4：次回の倫理研究会説明資料
- 資料86-5：2016年春の年会企画セッション説明資料
- 資料86-6：技術倫理協議会シンポジウムテーマ説明資料
- 資料86-7：倫理委員会委員への立候補のお願い
- 資料86-8：事故調、ご意見を伺う会などの提言の企画委員会担当分フォロー案
- 資料86-9：倫理委員会ホームページの整備状況

議事

1. 資料 86-1 により、前回議事要旨（案）を確認し、了承された。理事引き継ぎ用資料に関し、大場委員長から資料 86-2 を活用し、別途理事には委員会の活動趣旨を説明することとした。また、廃炉委員会対応については、宮越副委員長から内山委員に交代することとし、倫理委員会としての出席の位置付けについては委員長間で調整することとした。
2. 資料 86-2 により倫理委員会の目的、ミッションおよび今年度の活動概要の再確認があった。
3. 資料 86-3 により 2015 年秋の大会企画セッションについて宮澤委員から説明があった。当日は講演者 2 名の予稿集を聴講者に配布することとした。
4. 資料 86-4 により H27 年度倫理研究会案について近藤委員から説明があった。研究会の対象、取り扱うテーマ、講演者など、幅広く議論が展開されたが、最終的にテーマ案として①安全文化、②リーダーシップ(緊急時/平時)、③(事例集に基づく)教育コンテンツ、④原子力技術者の倫理スキルロードマップの作成(現状把握と学会が何をすべきかの検討)、を中心に担当及び三役にて再検討し、8 月上旬に委員に諮ることとした。
5. 資料 86-5 により 2016 年春の年会企画セッション案について大鷹委員から説明があった。講演者には事例を紹介頂き、そこから倫理委員会が東北地方の技術者の矜持や各階層の双方向リーダーシップに関するエッセンスを引き出すという流れとなるよう計画を見直すこととした。なお、時間の都合上、講演者は 2 名にすることで計画を進めていく。
6. 資料 86-6 により技術倫理協議会公開シンポジウムにおいて各学協会から講演の提案が求められているとの説明が中野委員からあった。これに対し、本日の委員会にて企画セッションや倫理研究会に向けて行った議論を元に大場委員長と中野委員にて纏めることとなった。
7. 資料86-7により出町氏の倫理委員立候補のお願いがあり了承された。次回の理事会にて報告される予定。

8. 倫理規程の前文と憲章の英文化について大場委員長より状況報告があった。前文と憲章については山本委員と辻委員にて原案を作成し、次回委員会で確認の後にネイティブチェックを受ける予定。
9. 資料86-8により大場委員長から事故調に対する企画委員会の活動について紹介があった。この中で、「行動指針周知チーム」に委員として参画しているとのことであった。
10. 北陸電力向け倫理研修の委託を請け負っており、教育内容について大場委員長より概略説明があった。
11. 資料86-9により宇奈手幹事から倫理委員会ホームページの整備状況について報告があった。現時点で整備出来ていない項目に対し担当案が提案され了解された。なお、CSRの項目、関連サイトについては削除することとした。また、全体の項目最適化のための見直しを中野委員にて行うこととした。
12. 事例集の準備状況について宇奈手幹事から説明があった。現在、最終的な内容確認中であるが、内容充実のために事例毎に分析表を作成し、これを基に本文の添削を行う予定。この作業を、7月末を目処にタスクチームの一部のメンバーで集中的に行う予定。
13. 次回の倫理委員会は、H27年9月16日とするが、場所については追って連絡することとした。

以上